

2020年度事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金

1 事業の成果

全体的に、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた。感染拡大防止措置として、イベントが中止またはオンライン開催となり、参加できないという事態が生じた。また、沖縄県・石垣市等の要請で行われた、島外との往来等の自粛により、当初予定していた事業の一部を中止または延期としたほか、調査・研究ミーティング及び環境教育の授業の一部もオンラインでの実施とした。

調査研究・モニタリング等事業では、2018、2019年度に続き、WWF ジャパンと協働して「サンゴ認定制度構築へ向けての調査研究」を行った。地球環境基金フロントランナー助成を受け、外部専門家を含めての調査・研究ミーティングをオンラインで行ったが、3月に予定していたフォーラムは延期とした。認定制度の構築には、多分野の認定基準作成、運営体制の構築等様々な課題があることから、当面、サンゴ礁保全や海の環境への負荷を低減する取り組みをしている、団体、事業者、個人を登録する「八重山の海を守るフレンドシップ（仮称）」の仕組みを検討していくこととした。

攪乱要因除去事業のうち、「農地からの赤土・栄養塩等流出防止」では、サトウキビ夏植え等で心土破碎により雨水等の地下浸透を図り赤土流出を防止する事業を行ったほか、パインアップルの施肥量を削減し、サンゴの生息に悪影響をもたらす海水の富栄養化を抑えることを目標に、施肥効率の検証を専門家の協力を得て行った。

「環境保全型農業の推進」では、農地の末端への防風林の形成を目指して植えたツバキ苗の育成管理を行った。成長後は、防風林や赤土流出対策の効果のほか、種から油を搾り収益を得ることも期待している。

広報啓発事業では、上記事情で、「石垣港みなとまつり」が中止、「石垣島まつり」がオンライン開催となり、出展できなかった。崎枝公民館、「石垣島をもっと元気にするプロジェクト（芝浦工業大学学生）」との共催で実施してきた「畑と海をつなぐサンゴのまつり」も開催を断念した。

一方、「サンゴ認定制度構築へ向けての調査研究」の社会実験として、環境に配慮して作られた農産物等の販売などを中心とするマルシェを2020年12月に開催し、500人を超える来場者があった。また、これに合わせて広報誌を発行した。

環境教育では、市内3高校の高校生を対象として、サンゴ礁保全のための赤土対策の必要性と手法等について、外部講師を招き、講義と実験を行うことを企画したが、沖縄県緊急事態宣言発出等の時期に当たったため、対面での授業実施を断念した。こうした中でも、八重山商工高校でオンラインでの、実験デモンストレーションを含む授業を実施することができた。

また、小中学生を対象とする環境教育を行う団体を支援し、小学生を対象とするサンゴの学習、中学生を対象とする生物多様性の学習を行った。

農地からの赤土等流出防止及び高校における環境教育は、沖縄県赤土等流出防止活動支援事業補助金の交付を受けて行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
攪乱要因除去事業	オニヒトゲ駆除 (実施しなかった)	—	—	—	—	0
	農地からの赤土・栄養塩等流出防止	2020年4月～ 2021年3月	石垣市内	2人	農家、住民、観光客等多数	1696
	環境保全型農業の推進	2020年4月～ 2021年3月	石垣島内農地	2人	農家、住民、観光客等多数	0
良好な環境 創成事業	実施しなかった					
持続可能な利用 に関する事業	実施しなかった					
調査研究・モニタリング等事業	サンゴ認定制度構築へ向けての調査研究	2020年4月～ 2021年3月	石垣市内	5人	住民、観光客等多数	2255
広報啓発事業	地域イベント等における広報啓発	2020年12月～ 2021年3月	石垣市内会場等	20人	住民、観光客等 500人	410
	地元小中高校生対象の環境教育	2020年5月～ 2021年2月	石垣市内等	10人	地元小中高校生 93人	644
その他目的を達成するために必要な事業	実施しなかった					

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	事業費の金 額 (千円)
物品等販売事業	実施しなかった				
イベント等開催事業	実施しなかった				
印刷物等への 広告掲載事業	実施しなかった				
商標等の提供 事業	実施しなかった				